

# 2023 年度 祥明大 學校 交換留学報告書

総合管理学科 森涼桜

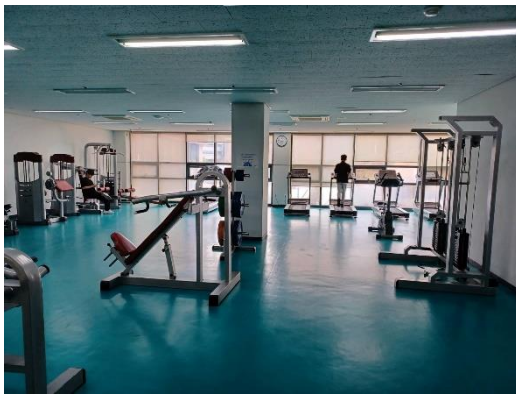
2023 年の 2 月末から 12 月末までの約 10 カ月間、私は祥明大 學校の天安キャンパスに在籍していました。本報告書では、韓国でどのような留学生活を送ったのかご報告したいと思います。

## 1. 日常生活

### ① 寮

私たちは大学の寮で生活しました。旧館と新館がありますが、女子の交換留学生は旧館で生活することになっています。部屋は 2 人 1 部屋で、机・クローゼット・靴箱・冷暖房・ベッドが備え付けられています。また、トイレ・シャワー・洗濯機・電子レンジ・ウォーターサーバー・学習室は共用です。その他必要な生活用品は自分で調達する必要があります。新館には、ジムや学習室・コンビニがあり、時間内であれば旧館の学生でも利用可能です。

夏休みは学生全員寮を退出しなければなりません。その代わりに、大学が管理する



新館にあるジム

アパートが利用できたので、夏休みは大学前にあるアパートで過ごしました。アパートには、靴箱・ベッド・クローゼット・机・台所・冷蔵庫・棚・シャワー付きトイレが備え付けてあります。ただし、洗濯機はないので、アパート前のコインランドリーを利用するか、新館にある洗濯機で洗濯しなければなりません。自分で部屋を借りるよりも、リーズナブルに利用できました。

### ② 食事

寮では自炊できません。なので、普段はレトルトご飯を温めたり、学食や大学周辺の飲食店を利用しました。時には、デリバリーでチキンやトッポッキを頼んでルームメイトとシェアしながら食べました。大学の学食は比較的リーズナブルに利用できます。朝食は韓国政府の支援もあり、1,000 ウォンで簡単な朝食をいただけます。お昼は、5,000~6,500 ウォンくらいで多様なメニューから食べたいものを購入できます。



1,000 ウォン朝食（フレンチトースト）

授業後に食べたトッポッキ

### ③ 交通

一般的なバスは、Tmoneyカードで決済ができます。天安は一律1,500ウォンで、乗り換え30分無料です。また、天安は交通の中心地でもあり、高速バスで様々な地域に行けます。予約や決済はTmoneyアプリで行えます。天安からソウルまでは約1時間です。区間によっては学割も適用でき、交通費は日本よりも安いです。

### ④ 買い物

食料品は大学近くや、バスターミナル近くにあるスーパーを利用しました。日用品はダイソーや大型スーパー、Coupangというアプリで購入しました。Coupangは配送が早く、夜に注文したものが次の日の朝に届いていることもありました。また、スーパーなどで購入するよりも安く手に入ることが多かったです。重い荷物を持つ必要がないため、よく利用しました。

### ⑤ 金銭面

韓国ではほとんど現金を使わず、カード決済が主流です。ただし、Tmoneyカード（交通カード）をチャージする時や、海外カードで決済できない時は現金を利用しました。外国人登録書ができた後は、銀行口座を開きました。先ほど挙げた、CoupangやTmoneyなどほとんどのアプリでは海外カードで決済できないので、韓国の銀行口座を開くことをお勧めします。友人と割り勘する際も、銀行口座のアプリですぐに送金できるのでとても便利です。また、私は韓国滞在中に、クレジットカードを不正利用されました。多めの現金や予備のクレジットカードも持ってきていたので生活に支障は出ませんでした。カードをよく利用するようになるため、定期的に明細を確認したり、不正利用に備えて多めの現金やカードの準備をされることをお勧めします。さらに、韓国滞在中の生活費は県立大学から毎月頂く奨学金でほとんど賄うことができました。

## ⑥ 病院

後期は体調を崩すことも増え、友人に紹介してもらった近くの病院を利用しました。1人で病院に行くことは不安でしたが、分かりやすく説明していただきました。もし、留学中に病院に行くことになったら、まずは OSSMA の方に連絡することをお勧めします。保険請求に必要な物や病院も紹介してもらえます。希望すれば通訳の手配も可能です。また、韓国の国民保険も加入する義務もあったので、医療費は日本とあまり変わりませんでした。

## 2. 授業

単位は学期ごとに最低 12 単位取得する必要があります。私たちは日本語学科所属となりますが、他学科の授業を履修することも可能です。私は、前期に留学生向け授業を 2 科目・日本語学科の授業を 3 科目履修しました。後期は、留学生向け授業 2 科目・日本語学科の授業を 1 科目・教養の授業を 2 科目履修しました。その中でも特に印象に残っている 3 つの授業についてご紹介します。

### ① 韓国文化入門

後期に開講された「韓国文化入門」という留学生向けの授業では、主に韓国文化の体験を中心とした授業でした。授業には、中国・カザフスタン・ロシアの学生も受講していました。皆で大学近くの有名なお寺に行ったり、キンバづくりをしたりしました。他には、ジャージャー麺パーティーやデザイン大学の卒業展示会の観覧もしました。他国の学生と交流しながら韓国文化も学べ、楽しく履修することができました。



授業で見学したデザイン大学の卒業展示

### ② 北朝鮮学

北朝鮮学は教養授業として開講されており、韓国の学生に混じって履修しました。教授は、実際に陸軍で活躍されていた方です。講義は、北朝鮮の外交や政治体制などについて幅広く学びました。また、授業後には毎回教授に授業で分からなかったところを質問したり、お互いに南北統一問題や日本の原発の処理水問題などについて話し合ったりしました。授業では、普段聞きなれない政治や軍事的な語句がたく

さんあり、最初は授業についていくのに必死でしたが、回数を重ねるうちに1回で授業を理解できるようになりました。

### ③ 日韓関係史

日韓関係史の授業では、古代から現代にかけて日韓がどのように関わってきたのか、周辺国が日韓関係にどのような影響を及ぼしたのかなどについて詳しく学びました。課題やグループ発表を通して、韓国の学生の日韓関係に対する考えも学ぶことができました。未だ解決に至っていない日韓問題もあるため、なかなか韓国の方とそれらの問題について話す機会がなかったので、授業を通して韓国の方の考えを知ることができ、とても貴重な経験となりました。

## 3. 交流

留学中は日本語学科の学生だけでなく、たくさんの人と交流することができました。

### ① 留学生

留学中は韓国の学生だけでなく、他の国から来た留学生とも交流することができました。台湾やウズベキスタン・中国・ベトナム・カザフスタン・ロシアの学生と授業や留学生向けのイベントで交流しました。特に、前期に寮の隣の部屋だった台湾の友人とは、一緒にご飯を食べたり観光したりしました。留学生同士で自国の文化を伝えあったりし、韓国以外の異文化も学べ、とてもいい経験になりました。

### ② バディープログラム

前期にはバディープログラムという制度で、日本語学科以外の学生と交流する機会がありました。バディープログラムは、留学生と韓国の学生が定期的に交流する制度です。様々な学科のバディーと一緒にご飯を食べたりカフェに行き、流行語を教えてもらったり、日本について教えたりしました。

### ③ 日本語学科の友人

日本語学科所属だったこともあり、特に日本語学科の学生とたくさん友達になることができました。前期はバイトや勉強に勤しんでいる韓国の学生に気を遣い、自分からご飯や遊びに誘うことができませんでした。しかし、それを反省し、後期は自分から積極的にご飯や遊びに誘いました。おかげでかけがえのない思い出をつくることができました。



## 4. 休日

### ① 週末

週末は寮に籠らず、外出するように心掛けていました。主に天安やソウルで買い物や観光をしました。前期は台湾の留学生と行動を共にすることが多かったです。留学中はコンサートにもたくさん行きました。韓国国内でのみコンサートを開催する人気アーティストの公演も観ることができ、とてもいい思い出になりました。また、夏からは行動範囲を広げ、地方にもたくさん足を運びました。天安やソウル以外では、坡州・仁川・江陵・水原・平澤・大田・全州・光州・大邱・慶州・釜山に行きました。天安やソウルと異なった景色を見たり、地元の方とコミュニケーションを交わし、留学中ならではの経験ができました。その中でも、DMZ（韓国と北朝鮮の境の非武装地帯）に入り、展望台から北朝鮮の人を見たことは特に印象に残っています。1人で地方に行くことも多かったので、行動力や度胸が身に付いたと感じています。



韓国から見た北朝鮮

コンサート

### ② 夏休み

夏休みは前期で仲良くなった台湾の友人の誘いもあり、1週間台湾の友人宅でホームステイをさせてもらいました。友人は1週間付きっきりで、台北・台中・台南・高雄・基隆・宜蘭を案内してもらいました。定番の観光地だけでなく、外国人観光客があまり行かない地域にも行くことができ、刺激的な1週間でした。また、友人の家族や友達とも交流でき、温かく接してくれました。ただ心残りなのは、友人の

通訳に頼ってしまい、あまり直接会話できなかったことです。なので、留学後は中国語の勉強をし、再会した時には直接コミュニケーションを取りたいと考えています。

また、3週間一時帰国もしました。しばらく食べていなかった日本食を食べたり、友人と集まったりしました。久々に日本に戻り、改めて日本と韓国の良い点にも気づきました。さらに、一時帰国したことで、自分は今貴重な経験をしていると実感し、後期の留学の在り方を考え直す良いきっかけにもなりました。



台湾の街並み

台湾の屋台フード

## 5. 最後に

今回の留学は私にとって初めての韓国でした。大学入学の時期からコロナが流行し、留学に行くか迷った時期もありました。いきなり10カ月間韓国で過ごすことに、楽しみと不安を抱きながら韓国に向かいました。課題や試験対策に追われたり、体調を崩したりと大変な時期もありましたが、それ以上に素敵な出会いがあり、たくさんの学びを得て、思い出もつくることができました。留学を通して、語学力の向上はもちろんのこと、積極性や協調力・挑戦力など人としても成長も遂げることができました。そして、この留学は多くの方からの応援と支援のおかげで充実したものとなりました。応援・支援してくださったすべての方に感謝申し上げます。今後は、この経験を活かして社会に貢献していきたいと思っています。